

第 68 回八王子市民大会中学部決勝戦レポート

$$\text{FCブランコ八王子R } 4 \left\{ \begin{array}{l} 3-0 \\ 1-0 \end{array} \right\} 0 \text{ アローレはちきたFC}$$

昨年11月24日、秋晴れの戸吹スポーツ公園で、FCブランコ八王子R（以下ブランコR）とアローレはちきたFC（以下アローレ）の間で、第68回市民大会中学部の決勝戦が行われた。初戦から3-0、11-0と危なげなく勝ち上がってきたブランコRに対し、アローレは初戦こそ9-1と大差で勝利したものの、2戦目は2-2（PK5-4）、準決勝は1-1（PK5-4）と接戦をしぶとく勝ち抜いて決勝戦まで進出してきた。

赤いユニフォームのブランコRと緑のユニフォームのアローレ、両チームの選手達が緊張した面持ちでピッチへと足を運び、キックオフを迎えた。立ち上がりは両チームにチャンスがあったが決めきれなかった。10分に先制点のチャンスを掴んだのはブランコR、GKからのボールをビルドアップしていく。右DFから右MFへとボールを繋ぎ、ゴール前にクロスをあげた。そのボールをトップのキャプテン10番が正確なファースコントロールでボールを落ち着かせ、アローレGKを冷静に見てゴールネットを揺らした。さらにその2分後、チーム全体でポゼッションサッカーを追求するブランコRが、アローレの中盤からDFラインを崩していった。中盤からの速くテクニカルなドリブルでアローレの選手たちを抜き、またもや右サイドに展開する。右MFからゴール前へ正確なクロスがファーサイドで待ち構えていた8番にピンポイントで繋がる。そのボールを見事なファーストコントロールで冷静に決め、追加点をあげた。

アローレも攻めるが、ブランコRのDFラインとGKの厚い壁を崩せない。前半終了間際、ブランコRは左CKを得る。このキックが素晴らしく、ファーサイドにいた選手がヘディングで合わせた。このシュートにアローレGKも反応してはね返したが、赤いユニフォーム9番の前へボールが落ち、これも冷静に決められてしまった。前半は3-0とブランコRのリードで終えた。

後半アローレは、前線の枚数を増やして反撃を仕掛け、立ち上がりにペースを握った。ブランコRは前半のプレーで疲れたのか、あるいは3点のリードで少し気が緩んだのかイージーミスが目立つようになった。一進一退の攻防が続く中、終盤の28分、アローレ側ペナルティエリア内での激しいボールの奪い合いで、赤いユニフォームの選手が倒された。どちらも集中したプレーの中で起こってしまったアクシデント。ブランコRにPKが与えられた。これを18番が冷静にアローレGKの動きを見て、逆サイドにインサイドキックで決めた。そしてブランコRが4点をリードしたままゲームセットを迎えた。

試合は4-0とブランコRの快勝という結果ではあったが、勝者、敗者どちらにも良い面があり、課題もあった。

攻撃での意図のあるポジション、スピードのあるドリブルやパス、攻撃の起点の切り替え、サポートの動き、といった面はどちらのチームもジュニアユース年代に相応しいレベルであった。特にブランコRの得点シーンを振り返ると、ビルドアップ（丁寧な繋ぎ）→素早いサイドチェンジ→狙いを持ったクロス→正確なファーストタッチ→GKを観てからの冷静なシュートという一連の流れは日本のサッカーが目指す方向性と合致していた。

しかしいくつかの課題も見られた。一つは、どちらのチームも後半に体力や集中力が切れてきたのか、簡単なパスミスが目立ったことである。受験期が近づきトレーニング量が減っていたのかもしれないが、前半に比べ後半のパフォーマンスが両チームとも落ちてしまい、ゴールへのチャレンジも減ってしまった。受験が終わった後は、高校に進学する前に是非ともトレーニングを積み重ねて欲しい。

また守備面では、特にアローレに改善すべき点が多く見られた。守備のプライオリティ（優先順位）を改めて認識して欲しい。

- ① 第一に狙うべきは・・・ インターセプト（相手にボールが渡る前に奪う）
その為には「マークの3原則を意識したポジショニング（ボールと相手の同一視も重要）、先を予測した上での「素早い判断」といったことを追求しなくてはならない。
- ② インターセプトが無理ならば・・・ 相手のファーストタッチのミスを狙う
- ③ それも無理ならば・・・ 相手を振り向かせない（自分達のゴールを見させない）
- ④ それでもできず振り向かせてしまったら・・・ 粘り強く対応し、ゴールに向かわせない

特に相手陣地や中盤で、優先順位の①～③までを追求する姿勢があまり見られず、簡単に相手を振り向かせてしまうプレーが目立った。ユース年代では相手ゴールに近いエリア（高い位置）から相手に厳しくアプローチし、プレッシャーをかけることが求められてくる。残りの期間は少ないが、是非ともこのことをしっかりと頭に叩き込んで練習に取り組み、ユースチームに進んでいってほしい。

FCブランコ八王子は、第63回大会で優勝、第65回大会から今大会まで4年連続で決勝戦に駒を進めており、八王子市内で安定した力を発揮している。選手の皆さんの頑張りと指導者・チームスタッフの努力に敬意を表したい。アローレは第66回大会でも準優勝だったが、今回も優勝に一步届かなかった。初優勝を目指して是非奮起して欲しい。

最後に、今回中学部の決勝戦レポートが諸般の事情で大幅に遅れてしまったことを関係者の皆様に深くお詫びしたい。この試合に出場した中学3年生の皆さんは、間もなく次のユース年代のチームに進むことだろう。ユースチームに入る前にこのレポートを読み、皆さんが大きく羽ばたいてくれることを技術委員一同、心から祈っている。